

# 日本の政治を考える —2010年参院選の有権者の選択—

大学院人文社会科学研究所

国際公共政策専攻

竹中 佳彦

# 戦後の「退陣」

6月2日の「退陣表明」から、2ヵ月近く

→戦後の**首相の退陣表明から後任首相選出までの平均在任日数**は?

答え **17.2日** (作家・塩田潮氏による。『毎日新聞』2011年7月4日)

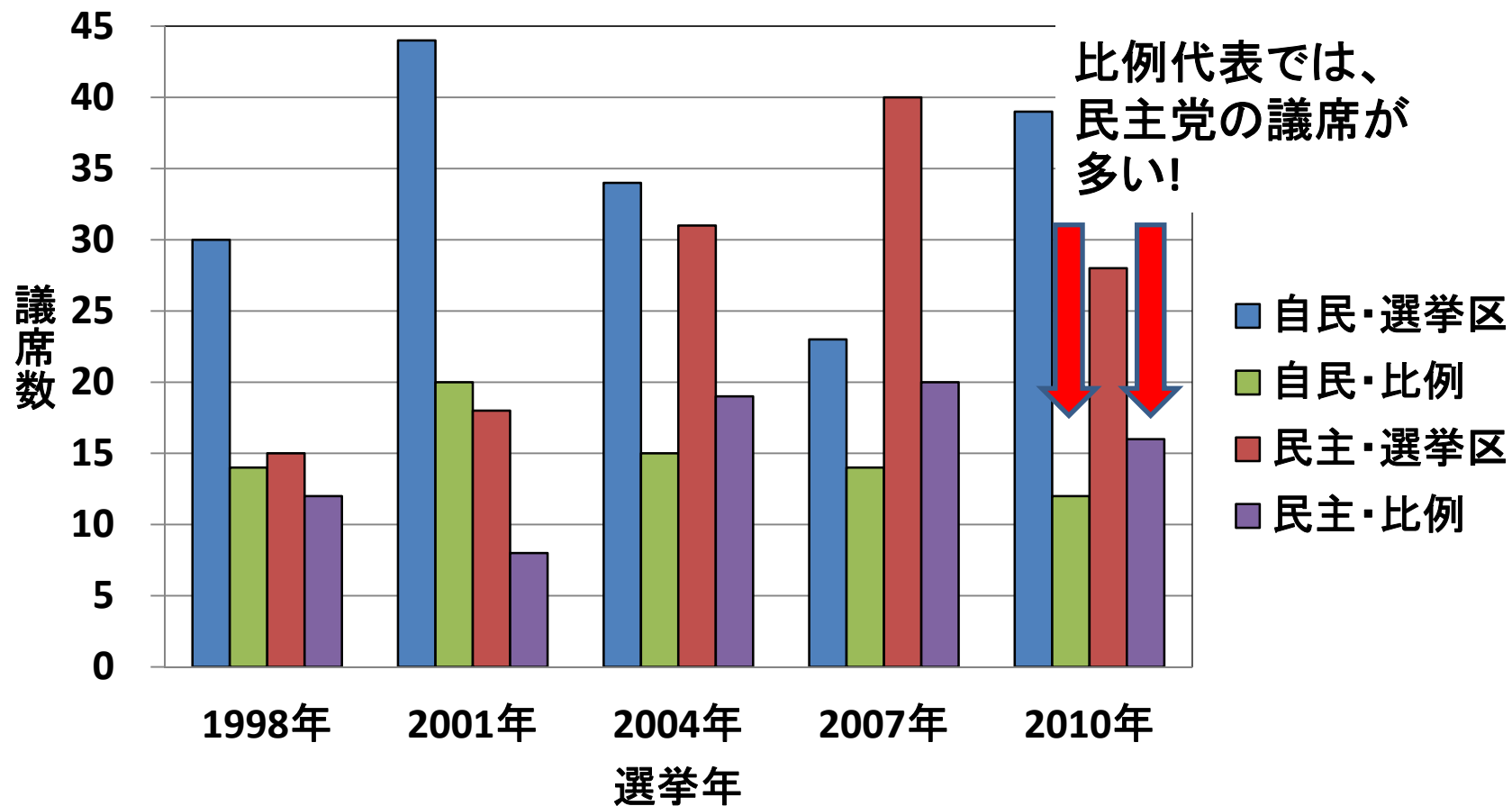
- a. 1957年1月、脳梗塞を発症した**石橋湛山**首相は、2ヵ月の安静が必要との診断を受け、2月22日、「私の政治的良心に従う」との書簡を発表し、25日に退陣
- b. 1960年、**岸信介**首相は、新安保条約批准書交換の6月23日に辞意を表明し、7月19日に総辞職
- c. 「三木おろし」に粘り腰を発揮した**三木武夫**首相は、1976年12月5日の任期満了選挙で敗れ、12月24日に退陣

→菅伸子夫人:「これまで首相がいともあっさり、簡単に辞めちゃった方が不思議ですよ。日本は、男の引き際だとか、男の美学だとかってすごく好きでしょ。……よくない」(『毎日新聞』2011年6月9日)

## テーマ

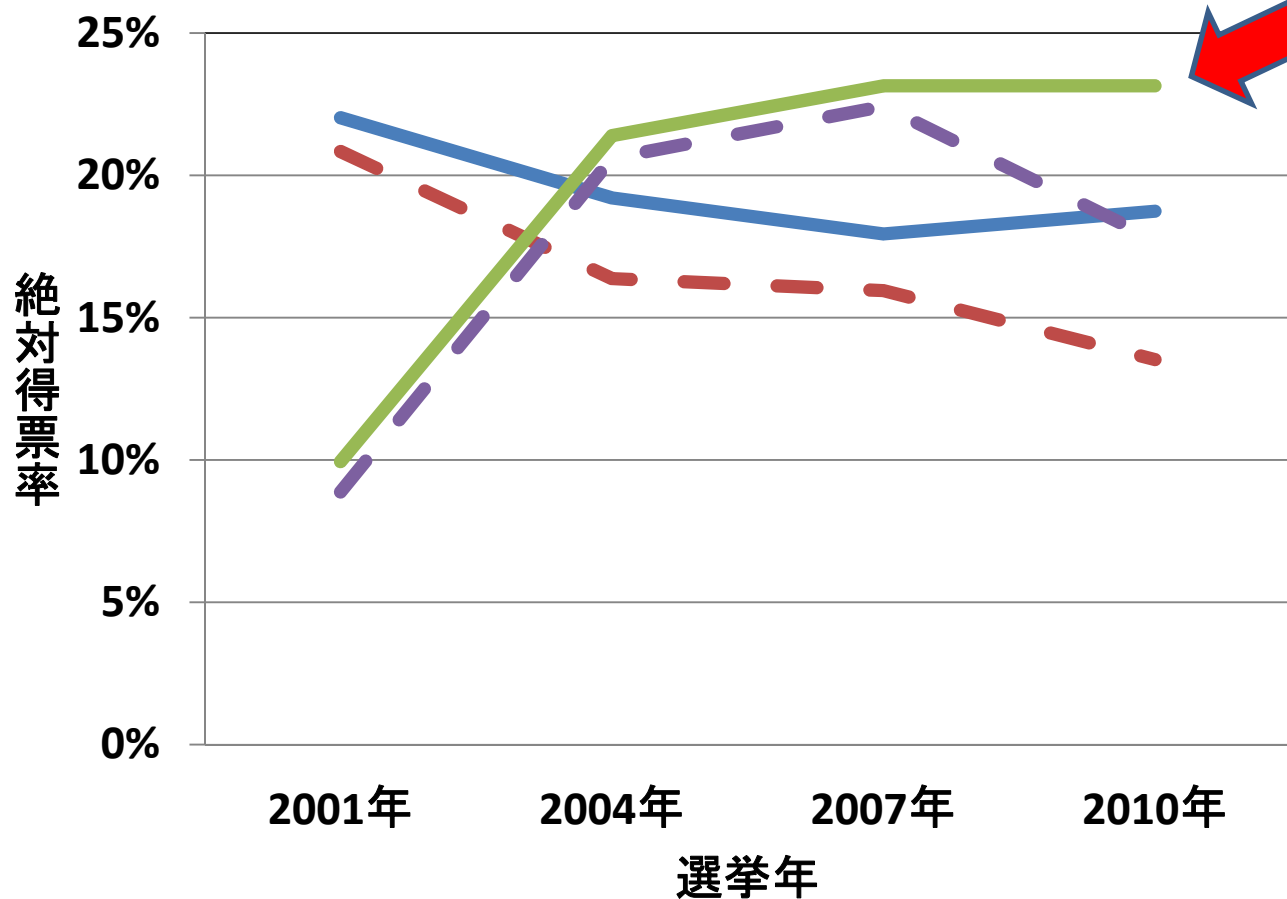
2010年参院選で、有権者は、何について、どのような選択をしたのか？

# 2大政党の参院選獲得議席数



# 2大政党の参院選絶対得票率

絶対得票率 = 得票数を当日有権者数で割った値



選挙区の得票率も、民主党が自民党より多い!

→死票

⇒有権者の投票行動を調査データで明らかにする

- 自民・選挙区
- - 自民・比例
- 民主・選挙区
- - 民主・比例

# データ

東京大学大学院法学政治学研究科旧蒲島郁夫・谷口将紀両研究室と朝日新聞社

→2003年7月以降、共同調査実施、データ公開

- ① 東京大学・朝日新聞社共同世論調査
- ② 東京大学・朝日新聞社共同政治家調査

# 政党支持と投票政党

	2009年衆院選投票政党				2010年参院選投票政党			
	自民党	民主党	みんな	N	自民党	民主党	みんな	N
自民支持	63.6%	24.3%	2.4%	659	75.2%	7.6%	7.8%	448
民主支持	1.9%	86.7%	2.7%	415	2.1%	81.1%	9.2%	380
支持なし	15.1%	56.1%	5.2%	465	19.0%	27.6%	30.5%	279

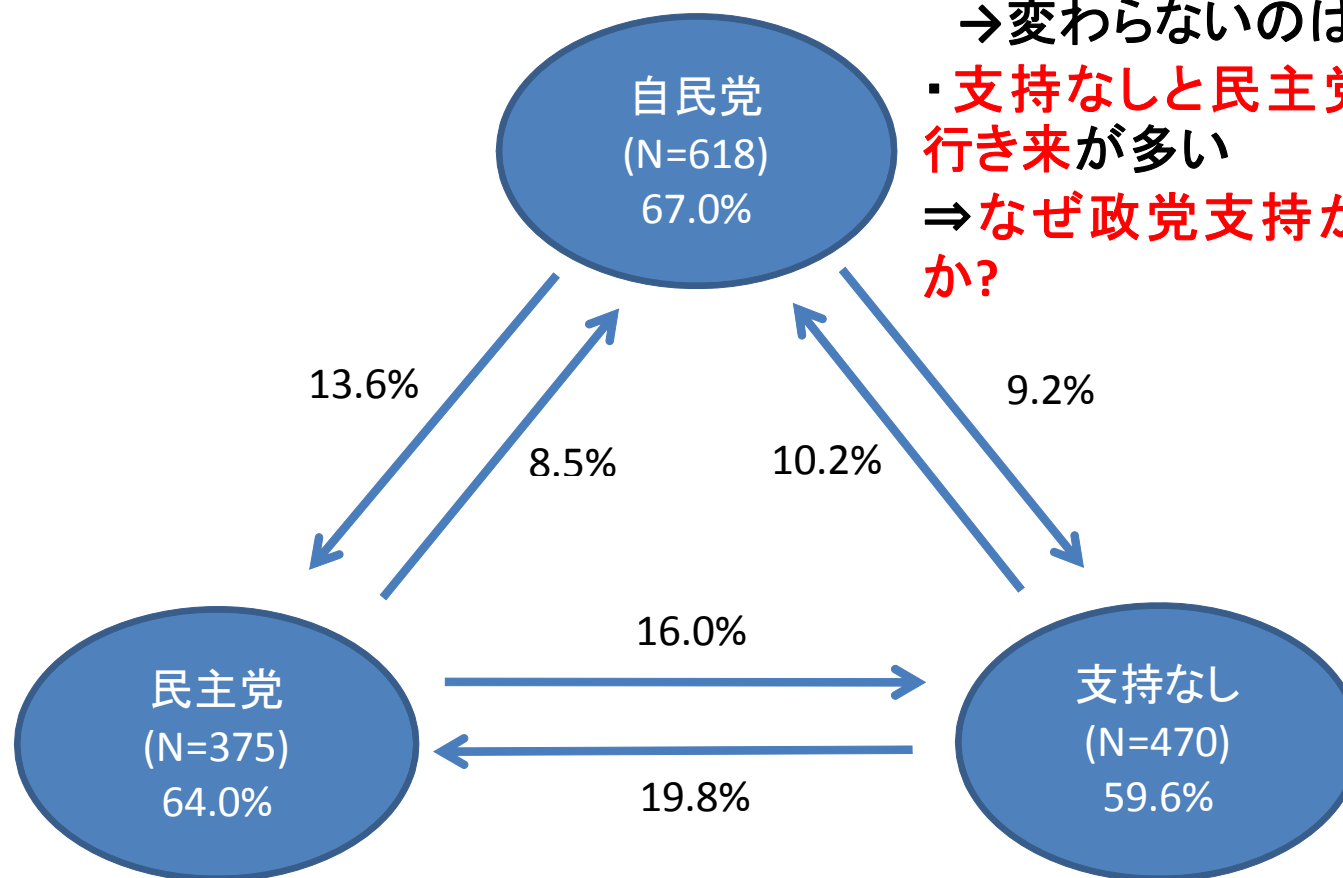
- **支持政党に投票**する傾向

  - 2009年の自民党支持者の歩留まりが低い

- 支持なしは、2009年衆院選では民主党、2010年参院選ではみんなの党に投票

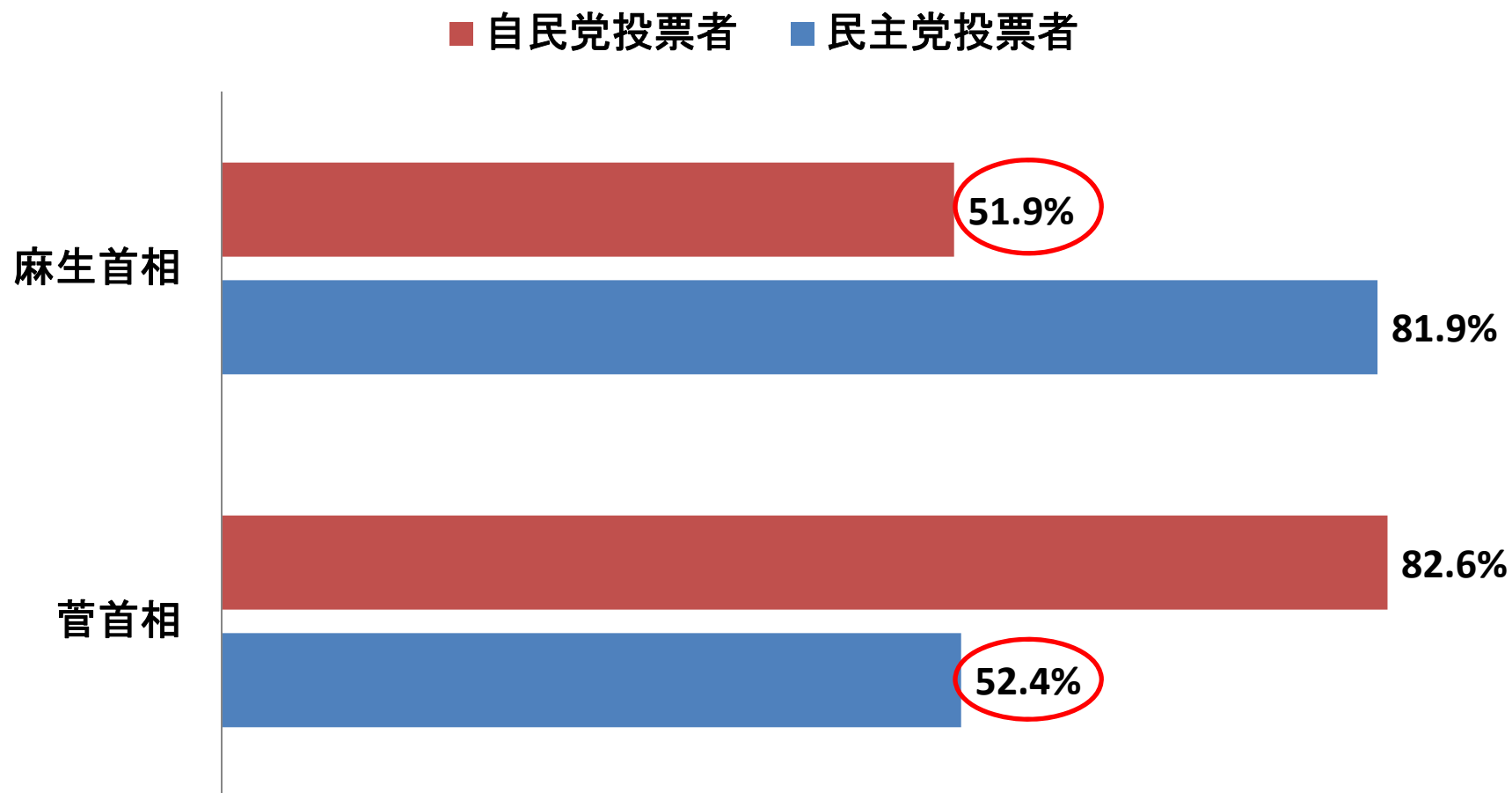
# 政党支持の変動(2009→2010年)

- ・支持政党は変動する  
→変わらないのは3分の2
- ・支持なしと民主党支持との行き来が多い  
⇒なぜ政党支持が変わるのか?





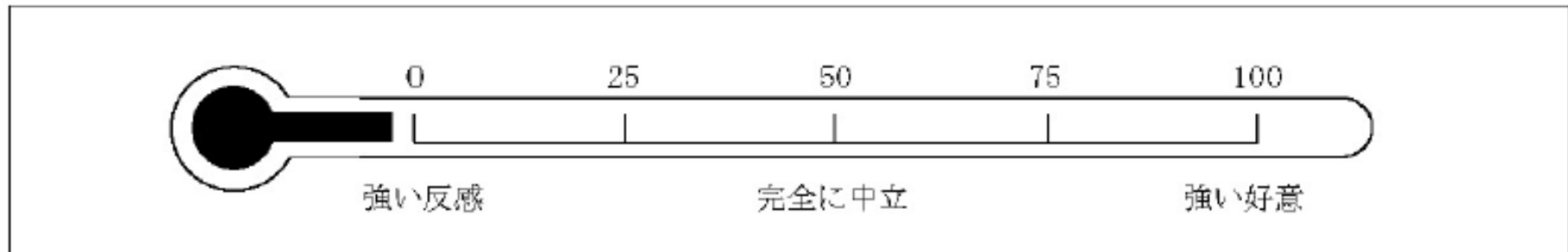
# 首相の仕事ぶりに否定的な人の割合



- ・全般的に首相の仕事ぶりに**否定的**
- ・しかし各党投票者の首相への評価が異なる→**党首評価の違い**

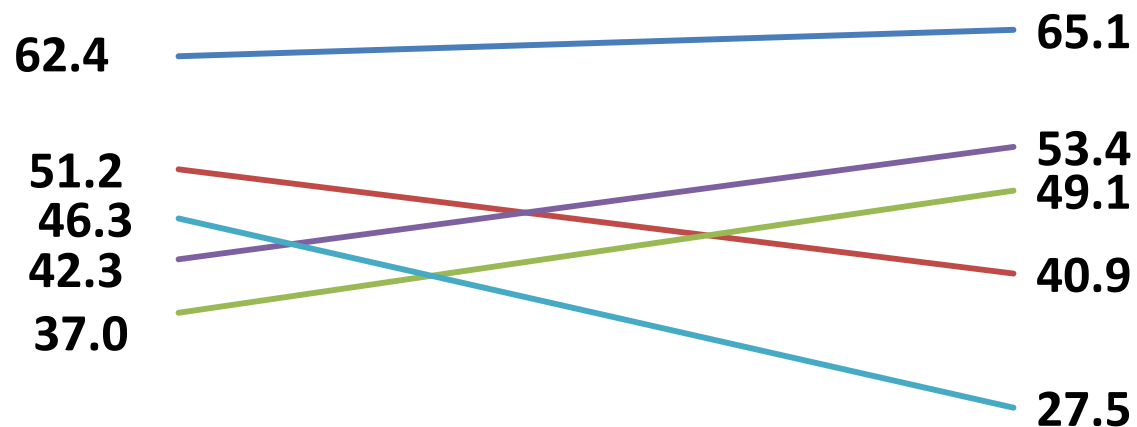
# 感情温度計

問22 あなたは、次の①から⑪の政党や政治家に対し、好意的な気持ちを持っていますか、それとも反感を持っていますか。好意も反感も持たないときは、下の「感情温度計」で50度としてください。好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて51度から100度、また、反感を感じていれば、49度から0度のどこかの数字で答えてください。



# 自民党支持者の感情温度変化

— 自民党 — 民主党 — みんな — 自民総裁 — 鳩山由紀夫



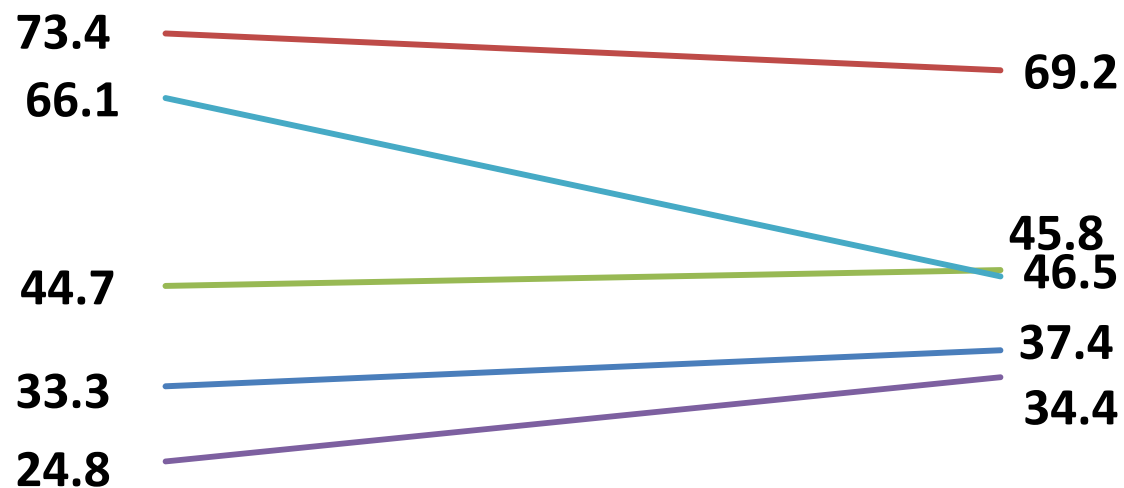
- ・2009年は、民主党に悪感情はあまりなく、**鳩山**のほう**が麻生よりも好感情**
- ・2010年に**鳩山感情は、10ポイントあまり低下**

2009年

2010年

# 民主党支持者の感情温度変化

— 自民党 — 民主党 — みんな — 自民総裁 — 鳩山由紀夫



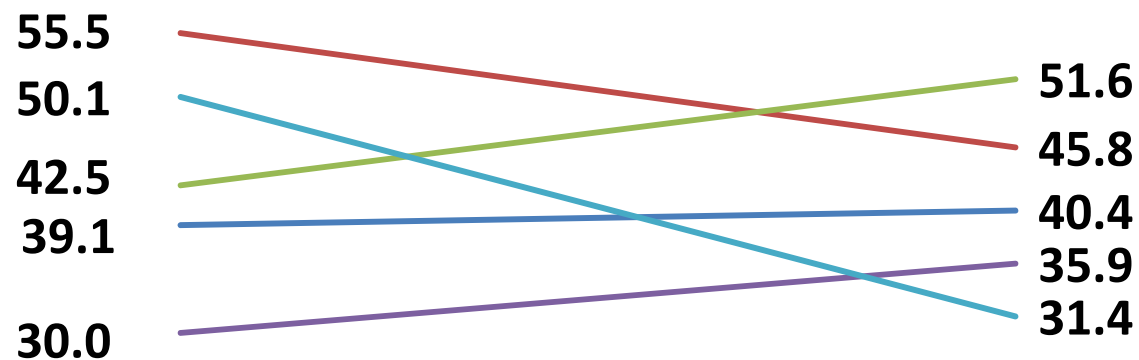
- ・自民党や自民総裁、みんなの党への感情は微増
- ・鳩山への感情が、20ポイント近く低下

2009年

2010年

# 支持なしの感情温度変化

— 自民党 — 民主党 — みんな — 自民総裁 — 鳩山由紀夫

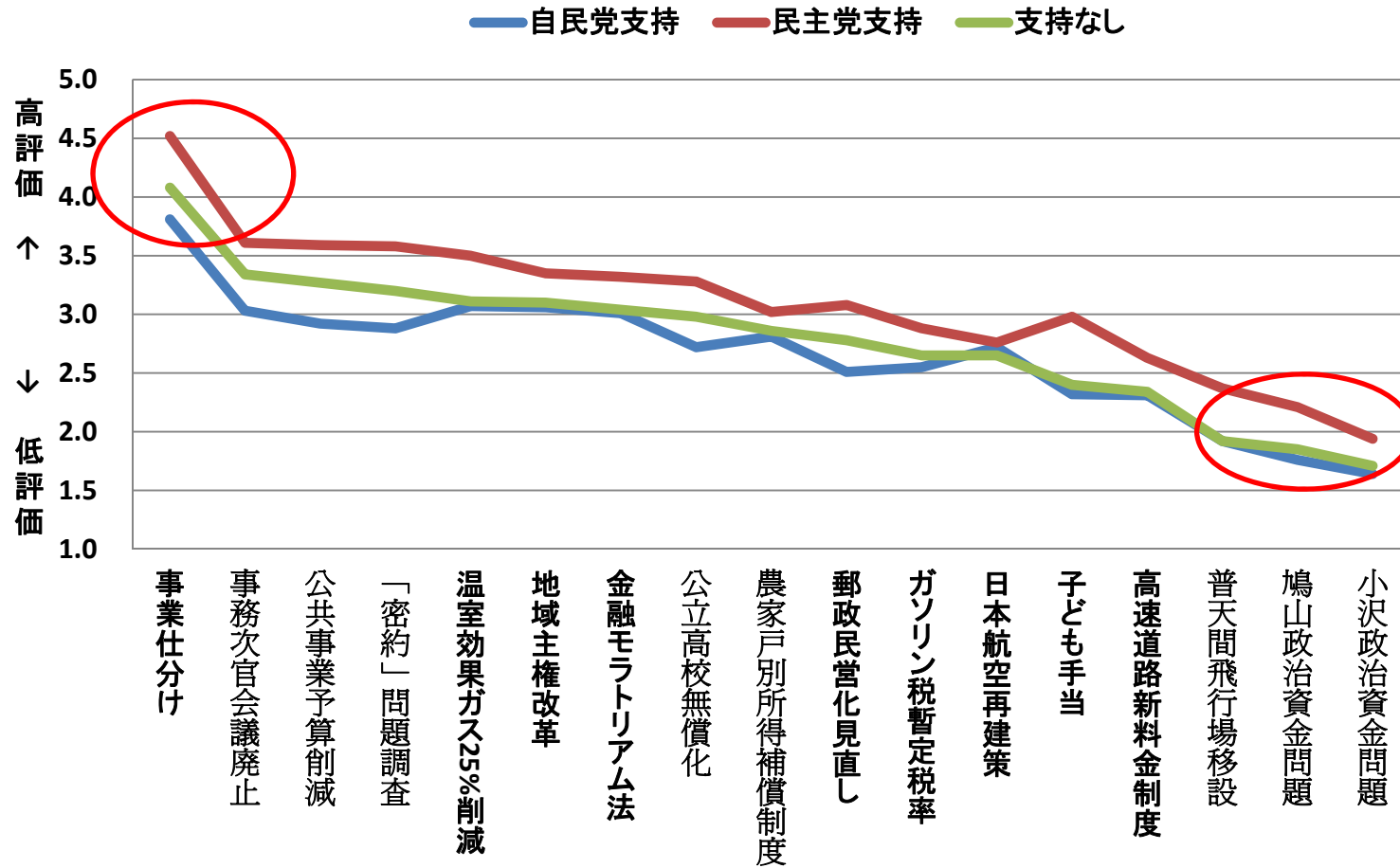


- ・ 民主党への感情が悪化、みんなの党への感情上昇
- ・ 鳩山への感情が、約19ポイント急降下

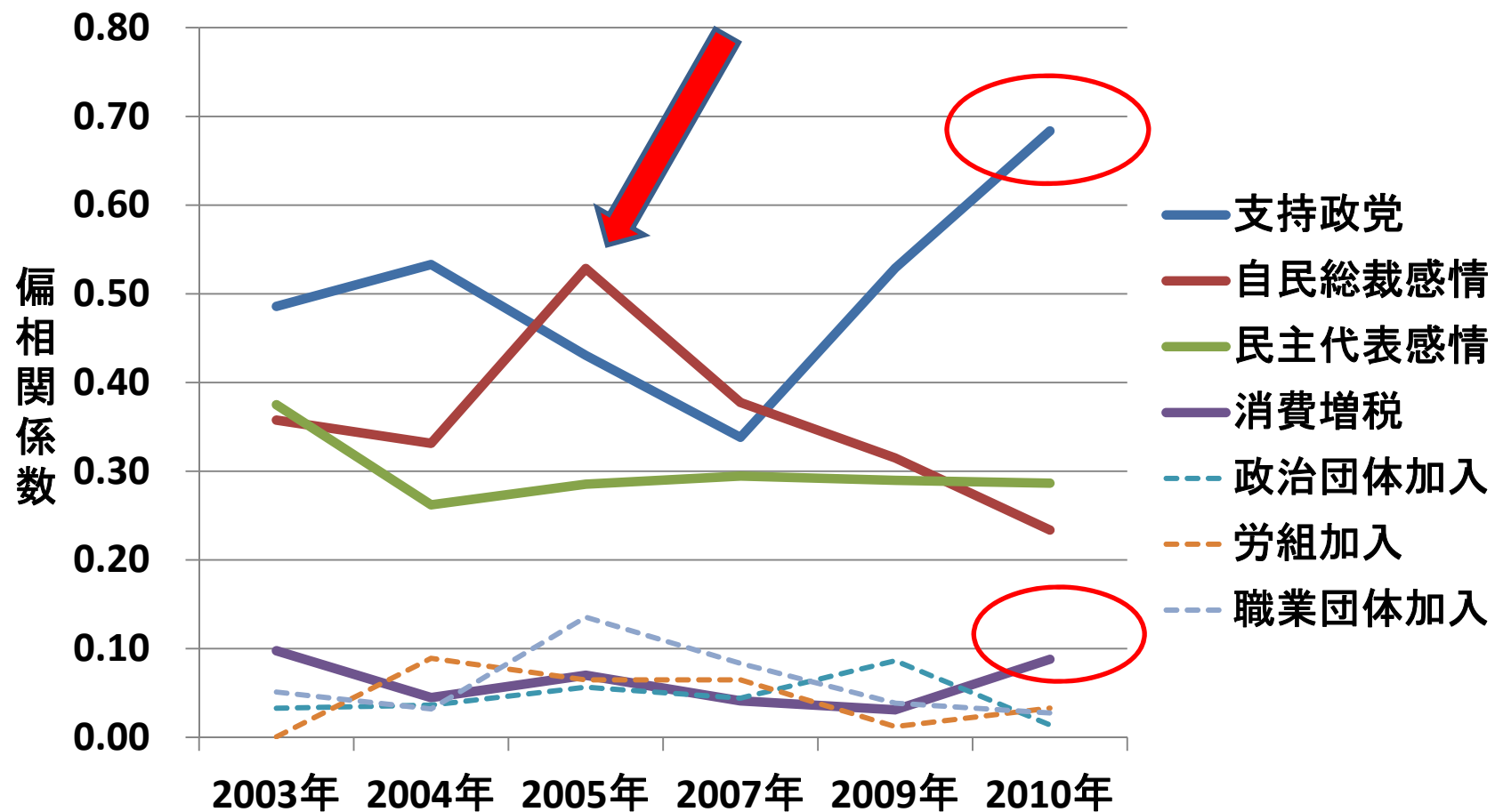
2009年

2010年

# 鳩山内閣の業績評価



# 投票行動の規定因(数量化Ⅱ類)



# まとめ

1. 政党支持は、投票政党を規定している。
2. 政党支持が安定しているのは約3分の2。
3. 2009年衆院選では、支持なしだけでなく、自民党支持者でも、鳩山感情温度が比較的高かった。
4. 2010年参院選では、民主党支持者も含めて、鳩山感情温度が急降下した。
5. 鳩山内閣の普天間問題、政治とカネの問題に対する批判は、党派を超えて共通する。
6. 2010年参院選は、菅首相の消費増税発言よりも、鳩山前首相とその業績に対する評価が政党支持に反映されたと考えられる。



# 結論

有権者は、内閣の業績によって首相に対する評価を上下させ、それに基づいて支持し、投票する政党を決めている。